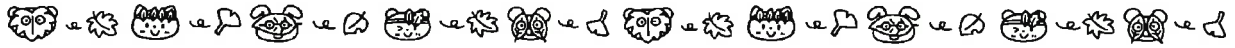


# 🌰 れんげぐみだより 📄

2022年 11月 文責 駒澤 愛菜美



日暮れの早さと、風の冷たさ、木々の葉が赤や黄色に色づき、晩秋の気配を感じるようになりました。朝夕はひんやり、昼間はぼかぼかと温度差があり体調を崩す子が増えてきました。気温が下がるにつれ水も冷たくなり、手を洗うのが億劫になりがちですが、丁寧な手洗いで感染症の予防に努めたいと思います。

## うたっている歌

♪山の音楽家                      ♪たきび                      ♪おはようクレヨン  
♪しょうじょう寺の狸ばやし      ♪きのこ



9月から歌っている『きのこ』は子どもたちにとっても人気で、両手でのこのポーズをしながら「き、き、きのこ」と歌っています！

## 園での様子

ロッカーからオムツを取ってきたり、洋服の着脱など色々なことを自分でしようとするが増えてきました。外に出る時には靴箱から靴を取って座って自分で履こうと頑張っています！「じぶんでする！」という声が増えてきて、援助されるのを嫌がる子もいます。一人で履けるようになり「できたよ！」と嬉しそうに頑張ったことを教えてくれます。『やってみよう』とする気持ちを受け止め、応援しながら、出来た時にはたくさん褒めていきましょう。



## おうちでこんなことはありませんか？

言葉が出てきても「いや」「しない」と自分の気持ちを主張することが増えてきている子どもたち。イヤイヤ期は自分を尊重して欲しいという気持ちの表れです。しかし子どもたちはそれを言葉では伝えることができず、簡単な言葉「いや」で表現しているのです。子どもたちの「いや」には、状況によって色々な意味が含まれているので、何が嫌なのか子どもたちの気持ちに寄り添って考えてみるのが大切です。でも『してはいけないこと』はあります。

- ☆玩具を投げる                      ☆友だちを押す                      ☆絵本を踏む
- ☆靴を履いたまま廊下を走る      ☆机の上や棚に乗る                      など



子どものすることだからと大人が見過ごしてしまうと、子どもたちは『してはいけないこと』が分からずこういった行為を楽しい遊びと誤ってしまいます。また、注意するときに「先生に怒られるよ」と言った声も聞かれますが『どうしてダメなのか』をしっかりと伝えていくことが大切です。子どもたちの気持ちに寄り添いつつ、伝えるべきことは目を見て伝えていきましょう。

## お願い

寒くなりはじめ、厚着になりがちですが、子どもたちは動きが活発になってきており、また、室内は床暖房や空調機を入れます。そのため、半袖や薄着の長袖で十分です。薄着にすることで体温調節がうまく出来るようになり免疫力も上がり風邪を引きにくくなります。強い体を目指して、できるだけ薄着で過ごしましょう。

